

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公開番号】特開 2012-226885 (P2012-226885A)  
【公開日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2012-048  
【出願番号】特願 2011-91675 (P2011-91675)  
【国際特許分類】

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 37/02 E

H 0 5 B 37/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 14 日 (2014.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光部と、隣接する他の照明装置からの情報を受信する受信部と、前記受信部が受信する前記隣接する他の照明装置からの情報に応じて前記発光部を発光させる制御部とを有することを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

人感センサを有し、前記制御部は、前記人感センサによる人感検知がない状態において前記受信部が前記隣接する他の照明装置が点灯した旨の情報を受信した時、前記発光部を発光させることを特徴とする請求項 1 記載の照明装置。

【請求項 3】

前記制御部は、前記受信部が受信する前記隣接する他の照明装置からの情報に応じて前記発光部を通常点灯状態よりも弱い光により発光させることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の照明装置。

【請求項 4】

人感センサを有し、前記制御部は、前記発光部の発光中において前記人感センサによる人感検知がなくなったとき前記隣接する他の照明装置が点灯している旨の情報を前記受信部が受信していれば前記発光部の発光を継続させることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の照明装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記発光部の発光の継続中において所定時間以上前記人感センサによる人感検知がないとき前記発光部の発光の継続を停止させることを特徴とする請求項 4 記載の照明装置。

【請求項 6】

前記制御部は、前記発光部の通常点灯状態における発光の継続を停止させるとともにこれを通常点灯状態よりも弱い光による発光に切換えることを特徴とする請求項 5 記載の照明装置。

【請求項 7】

前記制御部は、所定時間以上前記人感センサによる人感検知がないとき前記発光部による通常点灯よりも弱い光による前記発光の継続を停止させることを特徴とする請求項 6 記

載の照明装置。